

# 先端医療 イノベーションセンターが開所

九州大学先端医療イノベーションセンターの建物が完成し、平成23年7月27日（水）、病院キャンパスの同センター及び医学部百年講堂で開所記念式典が行われました。

式典は、小川洋 福岡県知事、清水潔 文部科学事務次官をはじめ、学内外の関係者約300人が出席して行われました。式典では、橋爪誠センター長（大学院医学研究院教授）から「研究開発から臨床試験まで一貫して行うことができる施設が完成した。1日でも早い先端医療技術の実用化を目指し、地域の産業振興や国民の健康増進に寄与していきたい」との挨拶があり、有川節夫総長からは、「本センターは、産官学連携の新たな取り組みとなるもので、新たな医療技術、医薬品、医療機器等の開発のニーズに応えるものである」との挨拶がありました。式典では、井村裕夫 京都大学名誉教授による「医療の未来とわが国の課題」と題した記念講演も行われました。



式典終了後には、先端医療イノベーションセンターと香港大学李嘉誠医学院外科との間で、学術交流協定の締結に向けた協議を開始するための覚書の調印が行われました。両者は、今後先端医療分野における研究開発、臨床試験の実施、人材育成等についての学術交流や相互の協力を目的とした交流協定締結に向けて協議を進めていきます。

- ①3Dグラスを着用した縫合の様子を見学する有川総長以下出席者
- ②井村裕夫 京都大学名誉教授による講演
- ③羅偉倫外科長代理（香港大学）（右）と橋爪誠センター長（左）による覚書の調印
- ④先端医療イノベーションセンターの外観

